

10月7日 北山 雲取山

伊藤多恵子

|   |   |       |        |        |       |       |
|---|---|-------|--------|--------|-------|-------|
| 山名  | 北山 雲取山  |       | 山行名    | 例会     |       |       |
| ルート   | 駐車場～寺山峠～一ノ谷～雲取り峠～雲取山～二ノ谷～寺山峠～P 駐車場                                  |       |        |        |       |       |
| 山行日   | 10月7日   |       | 天候     | 曇りのち晴れ |       |       |
| 参加者   | CL：伊藤（多） SL：藤本<br>男性：西川、山下、黒崎、佐々木<br>女性：徳田、上田、玉井、大林、伊藤（典）、高山 合計：12名 |       |        |        |       |       |
| ルート概略図<br>  | コースタイム  |       |        |        |       |       |
|   | 地名  |       | 時：分    | 地名     |       | 時：分   |
|   | 花背高原前P  | 集     | 8：40   | 雲取山    | 着     | 11：00 |
|   |   | 発     | 9：00   |        | 発     | 11：35 |
|   | 寺山峠   | 着     | 9：50   | 寺山峠    | 着     | 12：55 |
| 発   |   | 9：55  | 発      |        | 13：05 |       |
| 雲取峠   | 着   | 10：30 | 花背高原前P | 着      | 13：30 |       |
|   | 発   | 10：40 |        | 発      | 13：45 |       |
| <p>バスを使う予定だったが、Nさんが車の提供を申し出てくれ、Fさんの車と2台での山行に変わった。そのために定員が生じ、4名の方の参加を断る羽目になり（一人はキャンセルが出て参加できた）、申し訳ないことをした。ただ、車で行けたおかげで長時間のバス乗車を避けられて大いに助かったのも事実。感謝しています。</p> <p>久しぶりの北山ハイキング。気持ちの良い沢沿いのコース。が、ハイカーはほとんどいない。北山も随分人が少なくなりリボン・テープは薄くなっているものの標識はしっかり立っている。</p> <p>花背高原前バス停近くの駐車場を出発。花背スキー場跡を左に見て、林道から沢沿いの登山道に。やがて沢を離れて山腹を巻き、寺山峠に出る。10分下ると分岐に。ここから一ノ谷から雲取山を経て二ノ谷を下るループコースになる。やがて展望の良い明るい雲取峠に到る。昔は笹藪が多かったようだが、今はあまり目につかない。一登りで雲取山頂上だ。頂上は狭く眺望もない。風も強くてじっとしていると肌寒い。早めの昼食を終え、二ノ谷コースへの下山道を取る。テープが目印だが、三ノ谷へのコースもあるので気を付けたい。初めは足元の滑りそな急斜面で途中には何か所かロープも。美しい自然林の中を慎重に下っていくと、左に立命館ワンゲル小屋が見える。この小屋の前でOBらしきシニアグループがバーベキューをしている。煙の臭いが上の方まで漂っていた理由が分かった。その辺りから二ノ谷の源流域が始まり、林と沢、苔むした倒木など北山らしい風景が広がる。沢沿いの湿地には九輪草の群生があちらこちらに。できれば5月に訪れてみたいものだ。この時期、花が目立ったのはトリカブト。</p> <p>一ノ谷との出合を過ぎてからも左岸、右岸と渡渉が続く。ループの終点の分岐から登り返すと寺山峠に。出発地の花背高原前バス停まで25分。</p> <p>このコースが初めてというSLに先導役をお願いしたところ、ルート・ファインディングにもペース調整にも力を発揮してくれて、実に快適なハイキングを行えた。ループを一周したとき、「もう一周しますか？」と（冗談に）言った人がいるぐらい、時間的・距離的にやや物足りなかったかとも思いますが、楽しく終わられて何よりでした。運転手さん、SLさん、参加者のみなさん、ありがとうございました。</p> |   |       |        |        |       |       |
| ヒヤリハット なし   |   |       |        |        |       |       |

感想文

伊藤 典子

渡渉の多いコースだということだったので、「また誰か川に落ちなければいいけど」と思っていたら、自分がすってんころりと滑って川にはまってしまった。恥ずかしい!!  
幸い、スパッツを着けていたので靴の中はセーフ!でも膝をついたので少しズボンが濡れてしまった。今後の渡渉コースにトラウマとならなければいいのだけれど…。久しぶりに涼しく気持ちの良い登山でした。



高山 京子

お天気に恵まれ、ほとんど汗もかかずに快適な登山でした。その分、足取りも軽く頂上にも予定より早く着くことができました。ただ、頂上は風が吹き、防寒服を着ても寒く、冬山の感を味わいながらの昼食でした。(HOT なラーメンの方がうらやましい……。) 林道有り、沢渡り有りと変化に富んで楽しかったです。沢縁にクリンソウがたくさんあり、Y氏の「春になったら咲いているクリンソウを見に来よう。」との声に皆頷いていました。

ほとんど人に会わず、神秘的な北山を味わうことができました。ありがとうございました。

